

第1回日本複合材料合同会議 講演論文集原稿作成見本

東都大学

○複合太郎

東都大学[院]

材料あゆみ

A Sample of Manuscript of JCCM-1 Paper

Taro FUKUGO and Ayumi ZAIRYOU

A manuscript should be prepared with a laser printer or equivalent output with higher quality than a 24 dot-printer. You must submit A4 sheets with a top margin of 25mm, left and right margins of 20mm, and a bottom margin of 22mm. The title and the name(s) of the author(s) should be printed on the first page in both Japanese and English, followed by the abstract of 200-300 words, giving a brief account of the most relevant aspects of the paper. Main text will start with a line spacing above. All figures and tables are positioned within text.

< 1行分あける >

1 緒言

これは、第1回日本複合材料合同会議(JCCM-1)講演論文集の原稿フォーマットを示したものです。本フォーマットに従い A4 サイズ 4 ページ以内に日本語または英語で作成して下さい。なお、マイクロソフトワードで原稿を作成される場合は、日本材料学会複合材料部門委員会のホームページからダウンロードしたこの原稿作成要領をそのまま原稿にお使いになれば、マージンなどの設定は不要です。以下では、フォーマットの詳細を示します。

2 原稿の執筆上の注意

2.1 原稿サイズ 原稿は A4 サイズ(297mm×210mm)、4 ページ以内に作成して下さい。4 ページを超える場合は受け付けられません。なお、原稿にはページ番号を記入しないでください。

2.2 マージン A4 用紙に、左右 20mm、上部 25mm、下部 22mm のマージンを確保し、この枠内に原稿を作成して下さい。本文は 2 段組とし、コラム幅 80mm、コラム間隔を 10mm として下さい。

2.3 題名, 著者名 次の事項を本例に従って記載してください。(1)和文題名(15ポイント)、(2)和文著者名(11ポイント)、(3)英文題名(13ポイント)、(4)英文著者名(11ポイント)、(5)英文要旨(9ポイント)。題名は中央揃えとしますが、題名の頭には講演番号を事務局でつけますので、左欄の端より 30mm 以上空けて下さい。また、著者名は、勤務先、氏名の順に、左欄の端より 40mm 以上空けて記載して下さい。連名の場合は講演者(登壇者)に○印をつけて下さい。

2.4 本文 本文は 9ポイントでご執筆下さい。1コラムの文字数は全角で 25 文字程度、行間隔は 14ポイント程度として下さい。したがって、1コラムあたり 51行、1ページあたり約 2500 字です。参考文献は^{1), 2), 3)}のように番号をつけて、本文の最後にまとめてください。サンプルを本フォーマットの最後に示します。

2.5 図表 図表を本文中で引用する場合は、図(写真を含む)については、Fig.1、Fig.2 のように、また表は Table 1、Table 2 のように引用して下さい。なお、図表中の説明、キャプションは原則として英語とします。図・表どうし、あるいは図・表と本文は 1 行以上間隔をあけるようにして下さい。

3 pdf ファイルの作成

執筆した原稿は pdf ファイルに変換して下さい。pdf ファイルへの変換ソフトは各自でご用意下さい。変換に当たっては次の点にご注意下さい。

- (1)pdf ファイルにはフォントの埋め込みを行って下さい。これを行わないと、字体が変化する場合があります。
- (2)変換した pdf ファイルのサイズは 3MByte 以内として下さい。3MByte を越える場合は受け付けられません。なお、pdf ファイル名はアップロードした時点で申込み時の登録番号に書き換えられますので、ご了承下さい。

4 原稿の送付

作成した pdf ファイルは、締切日までに必ず以下の Web サイトからアップロードしてください。締切日に遅れた原稿は原則として論文集に掲載されません。

<http://jccm-1.ecomas.jp/index.php>

参考文献

- 1) 複合太郎, 材料あゆみ, 材料, **53**, pp. 555-562 (2004).
- 2) H.Harada and T.Yoshida, Proc. M. Soc., **A-123**, pp. 321-326 (1999).
- 3) C. Kittel, "Introduction to solid state physics", pp.56-87 (1976) John Wiley & Sons.

< 1行分あける >

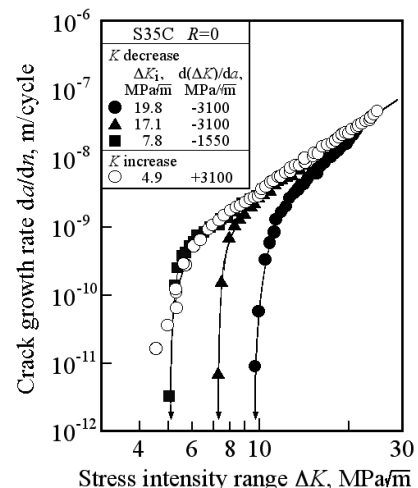


Fig.1 Relationship between da/dn and ΔK .